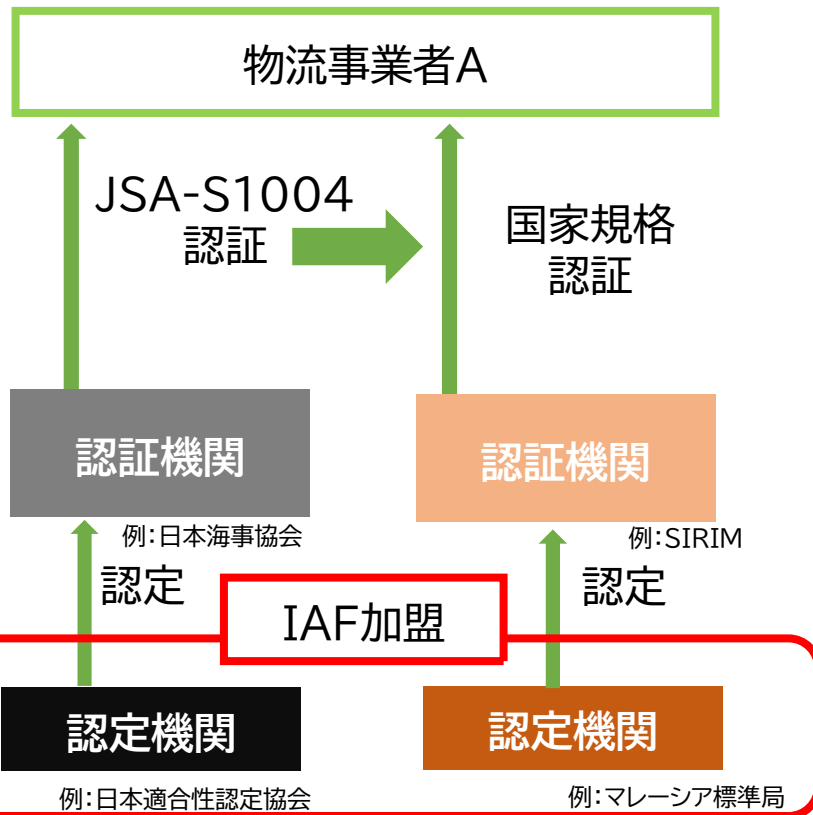


相互承認の可能性のあるケース

CASE 2

- ・JSA-S1004と国家規格の要求事項の内容が同一
- ・JSA-S1004及び国家規格をJSA-S1004認証審査ガイドラインに基づき審査
- ・IAF加盟の認定機関から認定を受けている認証機関ではあるが、JSA-S1004を認証した認証機関と国家規格を認証する**認証機関が異なる**



- ✓相互承認する規格の要求事項の内容(保管、輸送における温度管理に関する部分)が同一である
- ✓両規格ともJSA-S1004認証審査ガイドラインに基づくことから審査方法が同等である
- ✓両認証機関ともIAF加盟の認定機関より認定された認証機関であることから、審査力量が同等であるとみなすことが可

認証機関Bが認証機関Aの審査がJSA-S004認証審査ガイドラインに基づいて適切にされていることを確認した場合、個別審査なしで認証取得できる可能性が高い

マレーシア標準局

JSA-S1004と国家規格の要求事項の内容が同一であることをマレーシア運輸省が担保することが大前提

マレーシア運輸省

JSA-S1004をベースに国家規格を策定予定

なお、認証機関AがIAF加盟の認定機関からの認定を受けていない場合は、基本的には相互承認は困難となるため、認証機関Bは個別に審査を行うこととなる。